

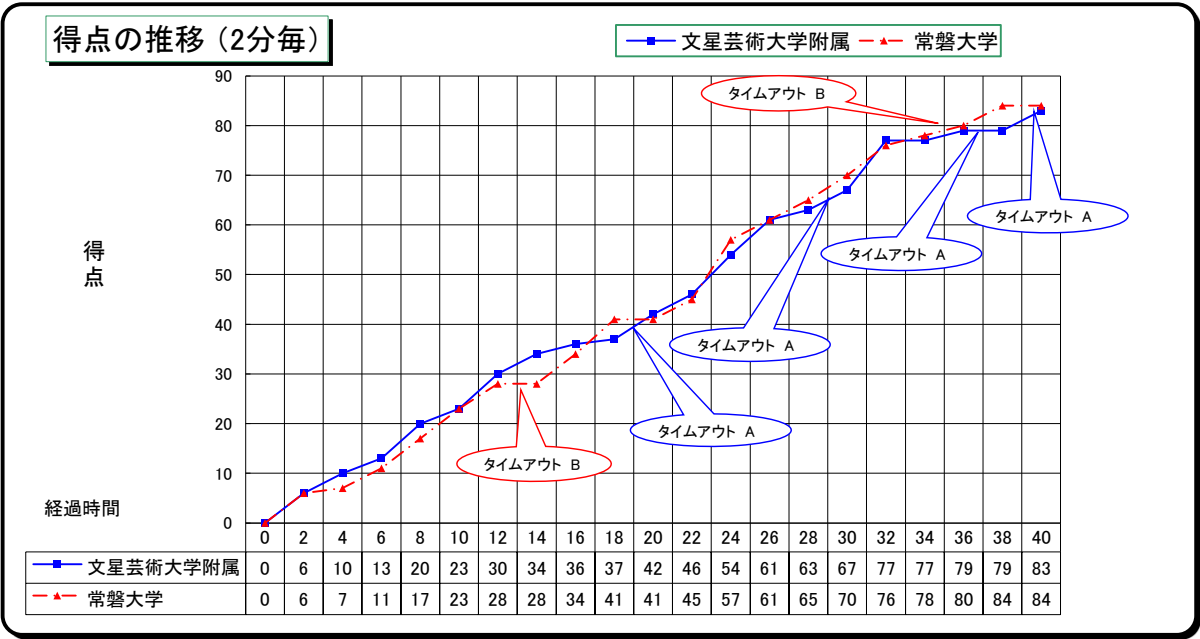
平成27年度 関東高等学校男子バスケットボール大会
兼 第69回 関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
＜1回戦＞

平成27年 5月30日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Cコート	第2試合 10:30～
<チームA> 文星芸術大学附属 栃 木	83 { 23 1Q 23 19 2Q 18 25 3Q 29 16 4Q 14 } 84		<チームB> 常磐大学 茨 城	
主審: 鈴木 寿之(東京) 副審: 石崎 公一(群馬)				

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	田中 広大	26	4	3	8	3
◎	5	李沢 隆志	11		4	3	3
	6	名瀬 龍					
○	7	石川 勝也	2		1		
◎	8	高嶋 寿剛	8		3	2	1
	9	小倉 康平					
◎	10	山本 一八	24	3	7	1	1
○	11	服部 公基	6		3		1
○	12	山口 夏生					1
◎	13	大登 健太	6		3		2
	14	吉川 天斗					
○	15	伊藤 聡志					
	16	小倉 峻平					
	17	岡田 直也					
	18	岡 慶悟					
コーチ		伊藤 均					
合計			83	7	24	14	12

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	緑川 翔太	16	2	3	4	
◎	5	丹波 裕人	9		4	1	4
◎	6	大竹 尚輝	4		2		3
◎	7	梶山 聖人	23	2	8	1	4
◎	8	木次 武志	20		10		4
○	9	青木 風真	2		1		
○	10	海老原 直人	10		5		1
○	11	大内 洸弥					1
○	12	亀山 風色					1
	13	吉田 奎吾					
	14	佐々木 優鷹					
	15	宮田 凱人					
	16	佐藤 大地					
	17	茂又 健瑠					
	18	山口 凌太					
コーチ		川崎 秀典					
合計			84	4	33	6	18

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦 評	記入者: 宮河 猛
第1P. 文星はハーフコートマンツーマン、常磐はオールコートマンツーマンで試合を開始する。序盤、文星は④田中のジャンプシュートなどで得点を重ねる。一方、常磐は④緑川、⑤丹波のドライブイン。⑦梶山のジャンプシュートなどで対抗する。文星は積極的なディフェンスから速攻を出し、確実に加点していく一方、常磐はオフェンスリバウンドに活路を見出し、ゴール下のシュートなどで得点を奪っていく。23-23同点で第1Pを終える。 第2P. ディフェンスに変更はない。両チームとも④が3pの入れ合いからスタート。序盤、文星はインサイドの⑧高嶋にボールを入れオフェンスを展開し始める。また、⑧高嶋はリバウンドに強さを見せ、常磐にセカンドチャンスを与えない。対する常磐は⑦梶山のジャンプシュートや④緑川の3pで加点する。常磐が終盤引き離しにかかるも、文星がタイムアウト後にディフェンスをオールコートマンツーマン(プレス)に変え、逆転して前半を終える。43-42の文星1点リードで後半戦へ。 第3P. 文星は3クォーターの1-2-2ディフェンス、常磐はハーフコートマンツーマンでスタート。文星はバランス良くどの選手も得点を入れていく。一方、常磐は⑦梶山の連続3pや⑧木次のインサイドで加点する。中盤以降、常磐がディフェンスをハーフコートの3-2ゾーンに変えたことで、文星のシュートが落ち始め、常磐⑩海老原の連続得点で逆転に成功する。67-70の常磐が3点リードして最終ピリオドへ。 第4P. 文星はハーフコートマンツーマン、常磐は引き続き3-2ゾーンでスタート。オフェンスでは⑩海老原がゴール下で活躍し得点を重ねていく。一方、文星は⑩山本、④田中がアウトサイドから得点し、一進一退の展開が続く。中盤、常磐はディフェンスが機能するも、オフェンスでミスが目立ち、得点が思うように伸びていかない。そこで常磐はタイムアウトを請求。その後、持ち味の速攻を連発しリードする。たまたま文星がタイムアウト。オールコートゾーンプレスにディフェンスを変え逆転を狙い、1点差にまで詰める。残り3秒。エンドスローインで文星のオフェンス。⑬大登が3pを試みるも、エアボールとなり試合終了。83-84で大接戦を地元、常磐大学高等学校が制した。	